



湾岸・アラビア半島地域ニュース

カタール：ガス輸出国フォーラム次期会合に関する発言

(11月18日付現地各紙)

17日、アル・アティーヤ副首相エネルギー・工業相は、記者団に対し、ガス輸出国フォーラム次期会合、「ガス版 OPEC」等につき、概要以下の通り発言した。

1. 12月23日、モスクワでガス輸出国フォーラム次期会合が開催される。同会合には、加盟国14カ国が出席、(昨年のドーハ会合で設置された)専門委員会からの諸提案につき協議を行う。
2. ガス輸出国発展のため、昨年のドーハでの会合で設置された専門委員会は、これまで会合を重ねてきたが、これを「ガス版 OPEC」設立への動きと解釈するべきではない。石油とガスの輸出は全く違い、契約形式が異なる。ガスの場合、テイク・オア・ペイ条項を含む長期契約に基づいており、産ガス国がガス生産量を一方的にカットすることはできない。
3. 「ガス版 OPEC」は計画されていないが、ガス輸出国で構成される組織が設立されれば、ガス産業界にとって有益となり得る。産業界が直面する諸問題につき顧客側と議論できる。またテクノロジー等に関する議論もできる。それは、ガス市場の安定に役立つことになろう。